
ゴザエーモン

JIN.KURA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゴザエーモン

【Nコード】

N0853A

【作者名】

J I N ・ K U R A

【あらすじ】

未来の猫型ロボット、ゴザエモンと駄目なやつ、ノピタの珍道中

ドザエーモン 1

ノピタです。僕は今、高校に通っています。

17歳です。ゴザエモンは僕が小学5年の時に

「ノピタ君、君はもう一人前だよ。だから僕は未来に帰るよ」
と言って、帰っていきました。

ぶっちゃけ、ゴザエモンと、ちょっとマンネリしてたんで、
帰ってくれて良かったですよ。

ゴザエモンは未来の警察に逮捕されたとか、あんだけ無茶な道具
いっぱい出してたら、
逮捕されても仕方無いよ、
時間止めたり、ドラ焼き勝手にいっぱい増やしたり、タイムマシン
で未来変えたり、ねえ。

僕は相変わらず馬鹿なんで、地元でも有名な馬鹿な高校に通ってます。

いますよ。もちろんジャリアンも。同じ高校にね。
ってか、すねおもいます。

と言うより、デキスギもいます。実は馬鹿だったんですね。デキス
ギ君。

それでね。まあ、昨日の事なんですけど、

僕はいつもの通り、部屋で寝てました。もちろん宿題しないで。
そしたら、机の引き出しが、ガタガタ！と揺れるんです！！
僕はお化けかな！？と思い、怖くなったんですが、

まさかゴザエモン？とも思いました。

引き出しには鍵が掛かってるんで、中からは開けられない仕組みです。

何分もガタガタと揺れています。

僕は開けませんでした。え？だって眠いし、面倒くさいから。

絶対ゴザエモンが来てると思いましたが、犯罪者なので、会いたくなかったんです。

30分くらい揺れた後、なんか中で喋ってます

「ジャジャジャジャーン！どこでもドア」

うわあ、ゴザエモンがどこでもドア使って引き出しから、部屋に入ってきました、こわいよー。

ゴザエモンは僕を無理やり起こそうとします。

「会いたかったよノピタくん！おきなよ僕、ドザエモンだよ！」

僕は青い猫のロボットに体を揺すられます。それでも目をつぶって寝たふりしてたら

「ジャジャジャジャーン。無理やり目が覚める機〜」

と、凄い機械出しました。いや、機械というか、ミネラルウォーター出しました。

水、ぶっ掛けられました、そりゃ、起きるよ、

また、ゴザエモンとの生活、始まります、

ゴザエーモン 2

ノピタです。ゴザエモンは案の定、家に住み着きました。押入れにギユウギユウな感じで入ってます。

僕は学校に行きました。昼休み、いつものようにジャリアンが僕を校舎裏に呼び出しました。

ジャリアンは地区すべてを支配する大番長になってます。

あだ名は暴走機関車です。って、ジャイアンもあだ名ですけど。

今日は全裸にされて、学校のグラウンドを走らされました。

しかも、前歯折られました。金も取られました、

「マダファツカ！ノピタメーン！」

最近はHIPHOPが好きらしいです、

もう普通にイジメられてます。

家に帰ると、ゴザエモンは僕を見て

「またやられたんだね！だらしのないなあ！ノピタ君は」

と言い、昨日のミネラルウォーターの残りをぶっ掛けられました。

クチの周りはアンコだらけでした。で、すぐに押入れに戻りました。ギユウギユウでした。

いや、説教いいから、道具だせよ、この化け猫。

そんなこんなでゴザエモンが来て、2日経ちました。親はまだ気付いてません。

ハッキリ言って家計苦しいので、言えません。

ゴザエモン、ロボットのくせに、飯食うなよ、

今日は学校で、スネオに呼ばれました。

スネオは今、アフロパーマかけています。

なんか親父の会社が倒産したらしく、もう、
メツチャクチャにグレテいます。

ジャリアンとは敵対関係にあります。

昼休みにパンの販売があるんですが、もう、スネオ派と
ジャリアン派の戦争です。

焼きそばパンは10個なんです、僕は今日、朝、学校に着くなり
スネオに

「お前、今日授業出なくていいから、パンコーナーの前で並んでろ
や。焼きそばパン、買い占めとけ。お前の金で」

あ、はい。

僕は朝から昼休みに来るパン屋をずっと待ちました。

昼休み、買占めたパンをスネオに持つてく前にジャリアンに強奪さ
れました。はい。いつものパターンです。

スネオに針で刺されました。わあい、ピアスの穴、これで23箇
所目だよ。

家に帰ると、ゴザエモンがテレビ見ながら、ゴロゴロしてます。も
う、ゴロッゴロ。機械なのに。犯罪者なのに。
殺してやろうと思いました。

ゴザエモンは「またやられたんだ、？ふー。なんか出そうか？出せばいい？」

と、投げやりな表情で僕を見ている。ゴザエモンは「しょうがないなあ。だすよ、ジャジャジャジャーン、時間サカノボリ機ー！ね？これで時間、元に戻すから、ね？やり直しなよ。はい」

時間が戻っていきます。

え、？昼休みに戻りました、また、ジャリアンに強奪され、スネオにピアス開けられました。

ゴザエモン、僕を殺す気です、

ゴザエーモン 3

深夜にすいません。

ノピタです。ゴザエモンが僕の枕元にいます。僕、恐いので、寝たふりをしているんですが、

なぜか、この化け猫、僕の鼻の穴にピーナッツ入れて来てます、
「アヒヤヒヤ！ノピタ君の鼻の穴は、なんでも入るなあ！バカのくせに！ゲラゲラ！次はなに入れようかなあ。ジャジャジャジャー
明太子！」

、もう片方の鼻の穴に明太子入れられました、出すなよ、ポツケから明太子、

そして、さらに、びっくり。サッカーボール、入れようとしてます。

僕はたまらず

「っておい！起きてるから！両方、鼻、塞がってるから！そもそもサッカーボール、入らないから！」

と、怒鳴りながら起きました。

ゴザエモンはひどく冷めた感じで

「ノピタ君、僕、なめてる？21世紀、猫型ロボットだよ？僕。ジャジャジャジャー 鼻の穴、拡大機ー！」

、、グイッグイッ、

「ほら、入った！僕に出来ない事は無いんだよ！ゲラゲラ！じゃ、おやすみ」

あ、おやすみなさい、鼻血出ました、

おはようございます。ノピタです。

あ、言い忘れましたけど、僕は今、眼鏡掛けてません。コンタクトにしたんですよ。一応僕も思春期なんで、ちょっとでもかっこ良く見られたいので、えへ。すいません。

思春期と言え、
しずかちゃん。

彼女は県内でも有名の進学校に進んでいます。

逢ってません。高校に進んでから1度も話してません。

本当に僕たち結婚するんでしょうか？

ゴザエモンに相談しました。

「いや、僕に聞かれても知らないよ。未来は変わるし。あんまり僕に頼るなよ。」

え？じゃあ、なんでまた僕の家に住み着いてるんですか、？

8

「それより今日はノピタ君にプレゼントがあるんだ！！
ジャジャジャジャーン。眼鏡く！」

ゴザエモンはポッケから眼鏡、出しました。

「ノビタ君、目、悪いくせにいつも眼鏡掛けてないからさ。プレゼントだよ。」

「つか、気持ち分かるけど、眼鏡、掛けてなくても不細工だから!!」

掛けなよ！眼鏡！アヒヤツヒヤ」

あ、どうも。僕はゴザエモンのくれた眼鏡を掛けて、すかさず、
「っておい！これ、鼻眼鏡じゃん！！いらないから鼻！！鼻は自分
のあるから！！」

ゴザエモンは

「アヒヤ！ゲラゲラ！！似合うよ！ノビタ君！ってか鼻！鼻！！！
ツボだよ！僕、その鼻、ツボだよ！あ！！！いい事思いついた！し
ずかちゃんに見せいこーよ！！」

と言い、どこでもドアを出しました、この後、悲劇が待ってまし
た。続きはまた。

ゴザエモン 4

続きます。ゴザエモンは強引に僕をどこでもドアに押し込みました。

「キヤーー!!」

ほら、予想通り、やっぱりしずかちゃん風呂入ってた、お決まりじゃん、ってあれ!?

しずかちゃん、男と風呂入ってるー!!

「ノピタさん、なんなの? いい加減にして、私、彼氏と幸せなの! 変なメガネ掛けて気持ち悪い! もう出てっー!!」

僕は鼻メガネを掛けたまま、お湯をぶっかけられ、自分の部屋に戻りました。

「ゴザエモン! どうしてくれるんだよっ! 最悪だよ! 鼻メガネも最悪だよ! もう死にたいよ!」

ゴザエモンは困った様子で

「じゃあ、僕がなんとかするよ、うーん。ジャジャジャジャーン

普通のナイフ!! ノピタ君、このナイフ使って死んでいいよ」

「ナイス! そうそう、僕、死にたいって言ったしね! このナイフでね、手首をね、
ってアホか! このクソ猫! しずかちゃんとの事をなんとかして欲しいのー聞いてる?」

ゴザエモンは、すでに押し入れにギュウギュウな感じで戻ってました、

押し入れからボソボソと声が聞こえて来ます

「狭いなあ、押し入れは。あ、そうだ！ジャジャジャヤーン
スペース拡大機。よし、これで押し入れ広くなったぞ。寝よ」

うわあ、すげえ、、ドザエモン、自分の事しか考えてないや、、あ、
涙、、

僕の部屋、3分の2が押し入れになりました。

はい。次の日。ノピタでーす！！今日はご機嫌でーす！！うふふ

実はね。今日しずかちゃんが家に訪ねて来て

「ノピタさん、こないだはごめんね、、いきなり来られて、びっく
りして。

似合ってたよ、鼻メガネ」

なんと、しずかちゃんが謝りに来てくれたんだ！！完全に僕が悪い
のに、

なんて優しい子なんだろう！僕、やっぱりしずかちゃんと結婚した
い！！

僕は未来を確かめるため、1人でタイムマシンに乗ろうとした、、
その時！！

「ノピタ君！てめえ、このやろー！勝手に人の道具使つなよ！僕も
連れてけよ！ひゃひゃ」

ひろ～い押し入れから出て来て、ゴザエモンがぶち切れてます、間違いなく面白半分です。

僕とゴザエモンは20年後の未来に行きました。

到着。だいぶ近代化してます。なんだか緊張します。

ゴザエモンは

「さてさて、アヒヤ、2人は結婚してるのかあ～？僕の予想では、しずかちゃんとは別の男と

結婚してるね。で、ノピタ君は、うん！浮浪者だね！アヒヤッアヒヤ」

どこまで失礼な猫なんでしょうか、あれ？まてよ？ゴザエモンは未来から来た猫。

という事は、すでに僕としずかちゃんが結婚してるかどうか知ってるじゃん！

え？いや、どうなんだろう？訳分からなくなってきた。

漫画の時もここらへんウダウダにしてたし、

とか考えてる間に、ふと目を道路の方にやると、

ゴザエモン、車にひかれてました、グツチャグチャです。

誰がどう見ても、猫に見えない位、ぐちゃぐちゃ。

ええ～？ここ未来なのに！いいの？車にひかれて！

ってか未来から来た猫が僕の時代に来て、そこから別の未来に行って交通事故で死んでる、ああ～訳分からん！！

どうすればいいの！？教えてよ！ふじ ふじおさん！

ゴザエーモンー5

僕はいい事を思いつきました。

タイムマシンで元の時間に帰ればいいんだ。

そしてゴザエモンが車にひかれる前に助ければいい！！

帰りました。

僕は未来を確かめるため、1人でタイムマシンに乗ろうとした、その時！！

「ノピタ君！てめえ、このやろー！勝手に人の道具使うなよ！僕も連れてけよ！ひゃひゃ」

どうやら成功です。この時間の僕とゴザエモンは丁度未来に行くところですよ。

この時間の僕とゴザエモンに見つからない様に僕も20年後の未来に行きました。

そしてゴザエモンがまた、ひかれそうになった瞬間、僕が助けに入りました。

どーん！！ってか、僕がひかれました。死ぬみたいです。

あれ？でももう1人の僕は生きています、なんで？

楽しそうにしずかちゃんの家に向かっています。

おかしくない？これ、僕は出血多量で死にましたが、

もう1人の僕は生きてるんで、よしとします。

次からはもう1人？の僕がここに書き込みます。

ああ、意味わかんない、

という感じで新しいノピタです。宜しくね。

僕とゴザエモンはしずかちゃんの家に向かう途中、コンビニ寄った
り、

散歩していた犬に触ったり、見知らぬ人に道を訪ねたり、
まあ、豪快に未来をいじりながら、ようやくしずかちゃんの家
に着きました。

まだ、昔と同じ所に住んでるみたいです。

ゴザエモンは

「ノピタ君、僕は君としずかちゃんの事なんて、どーでもいいんだ
だから早く済ませなよ。そしたら、新聞買いに行こうよ、へへ。
で、宝くじの当選番号を控えてさ、昔に戻って、ね？あひゃ！！
分かるでしょ？」

最悪です。この猫、そりゃ捕まるわ、警察、

ゴザエモンはすっかり、ダークな事を考えて、悪い表情を浮かべて
います。

まあ、とりあえずそれは置いて、しずかちゃんの家、突入です！！

ビー！！ビー！！！！

警報機が鳴りました、

長島茂雄のCMで有名なSECOMが来ました、

捕まりました。僕とゴザエモン、不法侵入で。今、牢屋です。

あは。未来の警察に捕まっちゃった。ヤバイよ、僕が焦っている
と、

ゴザエモンはすかさず

「ジャジャジャーン！！どこでもドア」

はい。あっという間に脱出成功です。

ゴザエモンはえらく興奮状態です。

「ノピタ君！！もう犯罪の1つや2つ、一緒にしょ！！ひやつひゃ。
宝くじの当選番号見にいこーよ！！ねえ！ノピタ！おい、こらー！」

これ以上、犯罪を犯す訳に行かないので、自分の時代に、ゴザエ
モン

担いで帰ります、、

ゴザエーモン 6

ノピタです。結局、しずかちゃんと結婚してたか分からなかったノピタです。文句あつか。

今日是最悪な日です。学校は休みなんですが、ジャリアンとスネオが野原で野球の試合するんです。ていうか、するなよ、不良のくせに、野球、

僕は両方のチーム（ジャリアン、スネオ）から

「来ないと殺すよ！？マダファカ、メガネメーン！」などと、脅しかけられてます。

メガネメーンって、コンタクトにしてるのに、

僕は1人で行くのが怖かったので、ゴザエモンを連れて行く事になりました。

「え？ジャリアンにスネオ！？懐かしいなあ！合いたいなあ！」

ゴザエモンはひさびさの再会に胸を踊らせてる感じです。

僕は覚悟を決め、バットとグローブを持って野原に行こうとしたら、

「おいおい、ノピちゃんさー！いちいち歩こうとしなくていいから！僕、未来のアレじゃん？ジャジャジャジャーンどこでもドア！ほら？くぐればすぐじゃん？」

僕とゴザエモンは、歩いて2分の野原まで、どこでもドアで行き

ました、
なんか、すごい罪悪感なんですけど、

野原に着きました、どこでもドアのおかげで1番乗りで野原に着いた様です。

ゴザエモンは着いて30秒くらいですぐに、イライラした感じになり

「なんだよ！？人を待たせるなんて、非常識な連中だねっ！みんな殺しちやおうか？

ジャジャジャジャーン 全員、強制殺人機！！

これ、ボタン押すだけで、完全犯罪だから！あひゃ、掃除機の要領でスイッチ押すだけだから！あひゃ」

僕は必死で止めました。未来で逮捕されてからすっかり人格が変わった様です。

ん？まあ、人格と言っても、ロボットですけど、

2人でみんなの登場を待ちました。

待つ事、10分、けたたましいバイク音が聞こえてきました。

スネオ軍団登場です。みんな無免許でバイク乗って来ました。

野球チームというか、完璧にギャングチームです。

ばおんばおん。ばおんばおんばおん、ぱらりら。ぱらりら。

「よう、ノピタメイン、今日も相変わらず不細工だな！
ん？あれ？ゴザエモンじゃん？生きてたの？おめえ。はは！！」

スネオはゴザエモンに握手を求めて来ました。

ゴザエモンは、グーしか出せないのて握手出来ません、

するとスネオは

「ハッハー！冗談だよ、冗談！お前握手出来る訳無いじゃん？グーなんだから！手！はは！相変わらず欠陥ロボットだな！！」

ゴザエモンはグーの手を震わせながら

「ふー、スネオ君、僕を怒らすなよ、ジャジャジャジャー
グーの手をパーにする機。」

、、ゴザエモンの手がパーになりました、、

スネオは困惑した表情で

「うわあ、ってか、気持ちわりーなー、ゴザエモンは、別にグーでいいよ、」

と、握手しないで、ツバを僕らの前に吐き捨て、キャッチボールを
始めました。

ゴザエモンはまた、興奮状態になり

「あひやひや！！スネオに勝った！ノピタ君！見ただろ？！
舐められちゃ駄目だから！！ひやひや」

続いてジャリアンチームが登場します。

ゴザエーモン 7

来ました。ジャリアン。んん？意外です。皆さんチャリンコで来ました。

まだ高校生ですからね、って、皆さん、日本刀や、バット持って来ました、

怖いよっ怖いよ！！あれ？日本刀は怖いけど、野球するんだからバット持つてるのは当たり前か、てへ。どう見ても違う意味のバット
に見えますけど、釘出てるし。

両チーム集合。審判役にはデキスギが呼ばれています。

まあ、デキスギは出来すぎない、馬鹿ですけど。

僕はどっちのチームなんだろう？コピーロボットが欲しい今日この頃です。

両チーム集合。ジャリアンが言います。

「ノビメーン！てめえ俺を裏切るなよ！ファツカ！！ダブルファツカ！！スネオ共々、潰すぞ！！」

なんだろう？ダブルファツカって？HIPHOP用語かなあ？
すかさずスネオが反論。

「だせえよ、ジャリアン、このデブ！！ノビタ嫌がつてるだろ？俺のチーム来るよな

ノ、ビ、タ！！オシヤレにいこーぜ？」

わーい。大人気だよ。僕。野球メツチャ下手なのに、

ゴザエモンが言いました

「おいおい、君たち、ノビタ君は1人なんだよ！しょうがないなあ。

ジャジャジャジャーン コピーロボット。はい。これの赤い鼻押すとね、ノビタ君2人になるから、ね？

両チームにノビタ君と言う事で！」

本当に出しやがった、コピーロボット、

僕は心の中で、おいつ漫画違っじゃーんっ、って200回くらい突っ込みました。

あ、ちなみにゴザエモンとジャリアン、何度か目が合ってるんですが

なぜかお互い話しません。まあ、昔から微妙な2人でしたけど。気まずいなあ、

コピーの方の僕がスネオ、本物の僕がジャリアンチームに入りました。

まあ、どっちも僕ですけど、

いよいよ試合が始まるうとしています。

「あひやあひや！！馬鹿なノビタ君が2人もいるよ！あひや！！2人いても、1人前にもならないけどね、あひややや！！」

ゴザエモンは野原でゴロゴロしながら笑い転がっています。

本当、ゴロゴロと、よく転がるんだ、ゴロゴロ、

あー！！むかつくっ！！！！

てな感じでデキスギが言いました。

「あつ、、じゃあプレイボールで御願いします」

ゴザエーモン 8

野球が始まりました。ノピタです。凄く白熱した試合です、かなりの勢いで白熱、
したんですけど、女の子に野球の話をして興味無いと思いますので、話しません。

ただ、野球が終わった後には、ゴザエモンの奴、
両チームに、土の中に埋められました。

やりすぎでした。ゴザエモン。自由人気取りでした。
幾つか紹介しときますと、

最終的にはなぜか僕、ノピタが両チーム合わせて14人居たり、
（なんか変な道具で、僕を増殖して楽しんでました。きもいつての
！）

試合中にネズミに追いかけて、グラウンド走り回ったり、
（そのネズミも自分のポッケから出したんですけど、嫌なら出さ
なよ、意味分からんよ、）

ネズミを殺すために、人間も殺してしまいそうな殺虫剤、巻き散
らかしたり、

（すかさずポッケから自分だけマスク出しました。

6人位、気分悪くなり、ここで帰りました）

試合中、時間を止めて、宙に浮いてるボールをみかんに変えたり、
（時間止まってたので、よく分かりませんが）

そのみかんを、ジャリアンが打って、ベチャーってなったの見て、笑い転げたり、

（ここで皆さんゴザエモンの仕業だと確認しましたね）

電池交換始めたり、

（あ、これはみんな本気で引いてました、ゴザエモン、電池で動いていたとは、

皆さん野球そっちのけで、釘づけでした）

そんなこんなで、ウザイ、ゴザエモン、みんなで協力して土に埋めました。

僕はゴザエモンを助けようか迷いましたが、あまりにも性格悪くなったゴザエモンを

見捨てて家に帰りました。少しは反省して欲しいし、

家に着きました。はい。居ました、家に、猫型。

すでにくつろいで、どら焼き食ってます。ボロっボロこぼしながら、

「ノピタクーん！さっきはどーもおー！あひゃ！助けなかったね、僕を。」

まあ、ね。僕レベル、君の助けが無くても、道具あるから、ね？それより君を見損なつたよ！まあ、君に言っても意味無いけど、あひゃ。

ジャジャジャジャーン 鏡！！」

ゴザエモンは鏡を出しました、鏡？なんで？僕はその鏡を渡され、見てみると、あっ！！鼻が真っ赤です！！

、 僕コピーロボットの方じゃん、、 すっかり本物だと思い込んでた、

本物は何処行ったんでしょうか??

ゴザエーモン 9

ノピタです。今日学校でジャリアンに凄いものを渡されました。

えーとですねえ、ジャリアンのRAPコンサートのチケットです。はあ、また意味の分からないHIPHOPのコンサートやる様です。

僕は家に帰ってからチケットを見てみました。

チケットにはこう書いてました。

タイトル：日本マダファカ、俺JARIANN

ジャンル：HIPHOP RAP LIVE

日時：3月 日

場所：いつもの野原

問い合わせ：03-45 - 4423 剛田宅

（親が出たらかんべんな）

出：前座 ノピタMEN

メイン JARIANN USA

価格：前売り¥4000

うわあ、明日じゃん。つておい！前座ノピタって！！

どうすりゃいいですか！！？

てか、なにすりゃいいんですか？？

僕は断ろうと思い、ジャリアンの家にTELしました。TELにはジャイ子が出ました。

ジャイ子とは、何故か剛田タケシ ジャリアン（あだ名）なのに剛田ジャイ子（本名）のジャイ子です？？？多分、いや、その辺

よく分かりませんけど。

ジャイ子の本名なんてどーでもいいや。

「ああ、ノビ君、兄貴、今スタジオで練習行ってるよ！居ないから！ガチャンっ」

うわっいきなり切られた。どうしよ、連絡もつかない。明日なのに、ゴザエモンに相談しました。

「あひゃひゃ、ゲラゲラ！良かったじゃん！！ノピタ君もたまには目立ちなよ！！」

僕がポロデュースするから！！ゲラゲラ、じゃあ早速練習だ」

ポロデュースじゃなくて、プロデュースですよ。ゴザちゃん。

僕は何故か夜中にゴザエモンとRAPの練習を始めました、、

ちよつと番外編

えーと、 すいません。話しがずれますが、剛田ジャイ子、どーしても気になったので

調べちゃいました。んで、分かった事

ジャイアンの妹である「ジャイ子」は本名ではないらしい。

今日まで僕は剛田ジャイ子が本名だと思ってたんだけど、本名は別にあるとの事。

知らなかった、僕ずっとジャイ子だと思ってました。みんなもでしよ。

しかしまあ、よく考えると当たり前。ていうか兄のジャイアンってのはあだ名。

彼にはタケシという立派な名前があるし、ジャイアンと呼ぶのは彼の友達のみで、親には

「たけし〜！また店番さぼって！！」

と本名で呼ばれてますもんね。

原因はこの母親かつ！？

この母親、何を思ってたかは知らないけど、自分の娘をジャイ子と呼んじゃってます。

息子のことは本名で呼んであげているのに、この差はなんなのだろう？不思議でしょうがないです。

てか調べ過ぎておしっこ漏れそうです。

ではジャイ子の本名はなんなのだろう？

はい、ここからが本当の所。抜粋。

実はこれは作品中には登場しない。調べてみたところ作者である藤子F不二雄氏は

「いつか本名を登場させる」

と言いつつ残したままこの世を去っている。

ジャイ子の本名は闇の中に葬り去られたとっていいだろう、

ほとんど抜粋してますから、本当？だと思いますが、どうなんですよ

ゴザエーモン 10

続き。昨日は大変な1日でした。長くなりますが、聞いてください。僕、ノピタです。

なぜかジャリアンのRAPコンサートに大抜擢されたノピタです。

僕はコンサートが始まる1時間前に、何故かプロデューサー気取りで舞い上がってる

ゴザエモンと2人で野原に行きました。

ジャリアンがセッティングをしています

「おう！マダファカ、ノピメーン！！今日は俺のコンサートの前座しつかり盛り上げるよな！！その前に入場料は1人¥4000だ！払えよ」

わあ、出演するのに、金取られました。

ゴザエモンは4次元のポケから気軽に¥4000出してました。その金は、どこ金、なんですかね？

そして入場料払った上に、セッティングを手伝わされ、いよいよ本番です。

ちなみに今日もゴザエモンとジャリアンは一言も喋りません。

そんなに仲悪かったっけ、？

続々と人が集まって来ました、みんな死んだ魚の目です、150人くらい集まっています、まあ死んだ魚の目ですけど。あ、しすかちゃんまで来てる！！

しすかちゃんも最近、HIPHOPが好きらしいです。

なんかアメリカのアーティスト、スヌープドギードック??とか好きみたいです。
犬?

僕はしすかちゃんが見て俄然やる気が出て来ました!!
ここは良い所見せないと!!

テンションを上げていると、ゴザエモンが

「うざいよ、ノピタ君。君、RAP練習したけど、へたくそだったじゃん?

駄目だったじゃん?てか演歌みたいだったじゃん?
僕の数々の道具でノピタ君をスターにするからさ。
あひゃ!君はただ立ってるだけでいいから!!!」

はい、僕のやる気とは裏腹になにもするなとおっしゃられました、

そしてジャリアンコンサート、日本マダファカ俺、JARIANN
(前座ノピタ)が
スタートしました。

ああ、いよいよ出番だ。

僕は緊張しながらステージの中央、マイクの前に行きました。
ゴザエモンは僕に一体どんな演出をする気でしょうか?

ステージに立って1分、あれ?なにも起きません。
早くも客席から野次が飛びました。

「ブー！ブー！早く歌え！ブー」

ブーって、豚かよ、うるさいなあ。しすかちゃんも冷めた目で僕を見ています。

ゴザエモン！早くカッコいいRAPを道具使って歌わしてよ！！

僕は祈る様な表情でゴザエモンに目をやると、なんか、余裕かましてドラ焼き食ってました。

僕が急いで！！という目線を送ると、次の瞬間、凄い事がおきましたよ、へへ、

まず、僕の体が勝手に宙に浮きました。客はざわめきます（ある意味これだけで大盛り上がりでしたけど）

そしていきなりステージ中央に巨大な箱が現れ、僕はその中に入れます。

蓋が閉まりました。箱は押しても開きません。

僕はなにが起きるのか聞いてないので不安いっぱいでした。

ゴザエモンがステージでマイクパフォーマンスを始めました。

「どーもどーも！！僕、猫型ロボットです！見れば分かるよね！？うん、猫ですよ僕。

ノピタ君のRAP聞いてもつまんだろうから、面白いマジックを見せるよ。今からこの箱にね、火つけるから、ね？中にはノピタ君いるからね。さあ、ノピタ君の運命はいかに！？」

なんか名司会です。

箱に火が着きました、

僕はゴザエモンが出す道具で脱出する物だと信じ込んでました、
ふふ、

あちち、ワッチチチっ！！熱い！！！！
僕、普通に燃えました。

箱も燃えたので、外に出れました。僕、ボウボウに燃えています。
そしたらゴザエモンに、普通の水、ぶっ掛けられました、

はい、火は消えました、
会場は違う意味でメチャクチャ盛り上がってます、

「ほーら。ノピタ君、僕の演出は完璧だろ？ちよつとヤケドさせちゃったけど、予定どおりだから！あひゃ。ジャジャジャジャーン
オロナイン軟膏！」

あわわわ、火は水をかけられ、ヤケドには普通のヤケド薬、渡されました、

PAPコンサートなのに、何故かマジックで盛り上げました。
つてか全然マジックじゃ無いじゃん、僕、普通に燃えてたし、

ジャリアンの前座、終了です、服燃えたので、スッポンポンでした。
た。

恥しかったです。

ゴザモーン 11

ジャリアンのコンサートも終わり、また普段の日常生活に戻っているノピタでございます。

僕、高校で、百人一首&カルタクラブに入ってます。デキスギもいます。

ていうか部員、2人です。

毎日、2人でカルタしています。先生が読み手です。

え〜と、嘘です。ぶっちゃけほとんど部活、行ってます。

デキスギもほとんど来ません。そりゃ、ね。僕ら2人は学校でかなりいじめられています。それで放課後、楽しくカルタはしませんよ、普通。

32

けど、今日はなんとなく部室に行きました。そしたらデキスギもいました。

30分くらいお互い無言でしたが、デキスギが声を掛けて来ました。「ノピ君、ゴザエモン帰ってきたんだね。いいなあ、僕もすっかり落ちこぼれなのに、僕は誰も助けてくれないよ、ははは、人生嫌になるよね、あ、カルタする？」

デキスギは、とてもカルタするテンションじゃありませんでした。

僕は、、

「そんな落ち込むなよ！ダメな奴だなっデキスギ君は！！
昔みたいに勉強すればいいじゃん！！カルタはしないよ！」

何故か、僕はデキスギには強気です。デキスギは泣きながら
「勉強は今でも沢山してるんだよー！ただ単に馬鹿なんだよ！
僕！、ねえ、カルタする？」

はあ、ウザイ！デキスギはウザイです。カルタはしないって
言ってるのにね、

僕はあまりにもデキスギが可愛そうになったので、明日デキスギを
家に呼んで、ゴザエモンに会わせてやる事にしました。

つてか僕の事もなにもしてくれないゴザエモンが、デキスギのために
なにかするとは思えませんが、

僕とデキスギは明日の約束を交わし、結局、

カルタを始めました。

あ、しかし、読み手の先生がいないので、カルタ、出来ません
でした

次の日、昨日の約束通り、デキスギが僕の家を訪ねて来ました。

僕はゴザエモンにすべての事情を話しました。

デキスギも訴えました。

「ゴザちゃん！お願いだよ！僕の頭を良くしてくれよ」

ゴザエモンは凄く面倒臭そうな表情で

「知らんよ、君の事なんて。うーん、ほらこれ上げるから、ね？
ジャジャジャジャーン 国語辞典！

これ使つてまず、僕に対する言葉使い勉強しな！舐めてるの？猫型
を」

わあ、かなり高飛車です。

デキスギは土下座しました。

ゴザエモンはそれを見て

「アヒヤ！土下座！なに時代だよ！ゲラゲラ。ドラ焼き200個用
意しな！

そしたら考えてやるよ！アヒヤ」

ひど過ぎる、僕はゴザエモンの余りの高飛車な態度にとつとつぶ
ち切れました。

「ゴザエモン！！いつからそんなに冷たい奴になったの！？

こんなになつてもデキスギは僕の友達なんだ！もう、君なんかい
らない！未来に帰れー！」

皆、静まりかえりました、

しばらくして、デキスギが無言の沈黙を破り、話し出しました。

「あ、じゃあ僕の家来なよ！ゴザエモン！僕の面倒見て！見て！

ドラ焼き500個用意するから」

え？デキスギ？、は、ふ、アハハ！（涙）

ゴザエモン 12

ゴザエモンはデキスギの家に行っちゃいました。

僕が悪かった。あんなにゴザエモンを責めるつもりは無かったのに。机の引き出しを開けました。、タイムマシンも無くなってました。ゴザエモン、本当に僕を捨ててデキスギの所に住む気なんだ、。そう思うと悲しくなり、僕は無我夢中でデキスギの家に行っていました、。

デキスギが玄関に出て来ました、。

僕はデキスギの話を聞いて驚愕しました。

ゴザエモンはデキスギの家には来ていませんでした。途中で居なくなっただけです。

居なくなる前にデキスギに、すかしっ屁かまして行ったそうです、。ゴザエモン、今何処に居るんでしょうか？

もしかして、未来に帰ってしまっただけでしょうか？

そう思うと凄く悲しくなりました。

僕、やっぱりゴザエモンが好きなんだ！！

それを気づかされました、。

僕は家に帰りました。部屋は暗いまま、。ゴザエモン、逢いたいよ。

それから、1ヶ月が経過しました、

ゴザエモンは帰って来ませんでした。僕は出て行けと言った事に本当に後悔しています。

ゴザエモンに謝罪したい、

ゴザエモン、君が好きだったよ、元気で居てくれれば、嬉しいです。

帰って来て、僕の側に居てよ、ゴザエモン!!

と、僕の寝ている枕元でゴザエモンが自分で作ったポエム?読んでます!!

「あひや!!どう?これ?ノピタ君の気持ちをズバリ言い当ててるでしょ!?

ノピタ君が僕の事好きなのは分かってるから!あひや!照れるなあ!安心しなよ!!僕は君、専属の猫だからさ!!デキスギの所には行かないから!!

アヒヤア!」

なんなんですか?この猫、うるさくて寝れません、本当に未来に帰って欲しいです

それでも寝たふりしてたら、また同じポエム読み出しました、

それでも寝たフリしてたら、水ぶっかけられました。

さすがに起きました、、

「おいつ！僕がこんな感動的な詩を読んでるんだから、ちゃんと起きて聞きなよ！

こらあ。だらしのないなあ、ノピタ君は！！こらあ。

僕が居てあげなきゃ駄目だなあ！あひゃ」

もう、訳分からん、この猫

ちなみにデキスギは帰る前にぶん殴りました。

ゴザエーモニー 12（後書き）

疲れたのでそろそろ最終回です。

ゴザエモン 13

まあ、そんな感じでゴザエモンとはしばらくギクシャクしています。

ゴザエモンにはクチで言っても理解してもらえないので、
出て行ってくれオーラ？を出す事にしました。
まあ平たく言っていると嫌がらせですけど、

こんな事してみました

どら焼きとタイ焼き間違えて買って来たり、（かなり嫌いらしいです、タイ焼き）

タイ焼きと言うか、タイ行きを命じたり、（命じたんですが、どこでもドアでなんなくクリア）

どら焼きのアンコを魚のアンコウに変えたり、（なにも言いませんでした、）

赤い鼻、ずっと無言でつまんだり、（ゴザエモンも無言でした）
箸でおかず取るうとして、赤い鼻つまんだり、（構わず、おかず食べてました）

ジャンケン700連勝したり、（これはぶち切れてました！もう1回！もう1回！って、

グーしか出ねーのに）

にゃー、にゃー、って猫アピールしたり、（無視して漫画読んでましたけど）

マタタビ出したり、（ちらちら見てました。ちょっと興奮するみたいです、機械なのに）

はい。仕返しされました

眼鏡付けられて、取れなくされたり、
小学校の時の短パン、引つ張り出され、はかされたり、
変な道具出されて、モップにされたり、（掃除用具、僕はダス
キンかつちゅーの！）

ポッケからジャリアン出されたり、（呼んどいて2人は無言で
したけど、ジャリアンは
一言も喋らず帰りました）

ポッケから核のスイッチ出したり、（あひゃやややややや
！！って言っていました）

で、それをどこでもドアで北朝鮮に持って行ったり、（・・・・・・
・・・・・・）

どこでもドアで押し入れから僕の側に来たり、（距離80セン
チ、これ本当にうざい）

タケコブター！！って渡されて空飛ぼうとしたら、普通の竹ト
ンボだったり、

（はい、急落下、骨折）

勝てません、すいませんでした、
僕はゴザエモンには勝てません、

そんなこんなでくだらない小競り合いが何度かありまして、
ゴザエモンはその度に僕を完璧な敗北に追い込みました、

けど、ゴザエモンはいつも悲しそうでした、
僕の気持ちを知ったようです、
そして、

荷物をまとめ、（どら焼き12個だけですが、荷物）
出て行く決心をした様です、

そして僕とゴザエモンは、最後の話し合いを始めました、

ゴザエモン 14

僕は覚悟を決め、ゴザエモンとの最後になるであろう話し合いを始めた、

「僕は昔のゴザエモンが好きだった。やさしくて、頼りがいがあった、でも、

ちよつと、おつちよこちよいでお茶目なゴザエモン。

あは。今でもゴザエモンとの愉快な思い出がいっぱい思い浮かぶよ、
でも今のゴザエモンは、いいとこなんて無い！
僕はもう一人で生きて行けるから、もうゴザエモンの力は借りないよ」

僕はゴザエモンを突き放す言い方をした。ゴザエモンには悪いけど、それが今の僕の気持ちだから、

ゴザエモンはうんうん、とうなずき、喋り出す、

「分かるよ、ノピタ君、うん。宿題が分からないんだね！あひや。さあ宿題出しなよ！
手伝ってあげるから！」

はい？あ、あの、話聞いてなかったんでしょうか？僕はもう1度

「いや、あのね、宿題の話はしてないから！ってか宿題も自分一人でやるし！

とにかくもう、ゴザエモンには頼らないから！」

ゴザエモンはひどくショックを受けた様子でぼそぼそ喋る。

「だから、あのどら焼きは賞味期限切れてるって言ったでしょ（ぼそぼそ）。

あひゃ、それを食べたノピタ君が悪いんだよ」

は、はい？うん。まったく話しが通じません。やばいよ、この猫、

覚 剤でもやってんのかな？もう本当にどーしよ。

と思っていると、僕にビックリな光景が目に入りました、

ゴザエモン、泣いています。

そしてゴザエモンは、、

「分かってるよ、ノピタ君。僕に出て行って欲しいんだろ？

分からないフリしてただけだから、

ごめんね。今まで冷たくして。

実はね、僕、未来のノピタ君に頼まれてたんだ。

前にも言ったけど、君は未来で浮浪者になってるんだ。

だから君の性格を甘えないすっかりした性格にするために、未来を変えるために、

僕はこの時代に来たんだ。けど、もう大丈夫だね。

一人で頑張れるって言ったし。

僕の役目は終わったよ。」

僕は驚き、眼鏡をはずした（あ、掛けてないんだった）はずしたりアクションだけした。

僕、未来、浮浪者って、まあ、ありそうな話しただけど、

ゴザエモンがそんな理由で来てたなんて、驚きだらけだ、

僕はその事実を知り、

「ゴザエモン！！行かないで！！僕こそゴメンね！！冷たくして！！僕、」

不安だよ！ゴザエモン、一緒に居てよ！！」

僕は自分の未来が浮浪者なんて聞いたから、それはもう必死だった。眼鏡を取り捨てる勢いだ。

そんな僕を見てゴザエモンは

「あひやや！！嘘！嘘だよ！！ノピタ君！あひや！ほとんど嘘だから！」

さつき泣いたのも道具使っただけだから！！ゲラゲラ！！

まあ、君の未来が浮浪者なのは本当だけど、あひや」

そう言い残し、ゴザエモンはタイムマシンに乗り込み、どこか行っちゃいました。

え？え？なにが、本当で、なにが嘘なんですか？

唯一、分かったのは僕の未来が浮浪者って事だけじゃん、

まあ、でもね。僕は未来が浮浪者と分かってしまったが、これからも元気よく生きて行こうと思う、、さよなら、

って思えるかつての！！どうすればいいんだよ！！

まさにてんやわんやだよ！！

机の引き出しを見てみると、タイムマシンがまだ、つながってます！

行くしか無い。ゴザエモンに逢いに、未来の自分を確かめに。

僕は未来のゴザエモンを追いかけるため、タイムマシンに乗り込

んだ。

追い出したはずのゴザエモンを追いかけに。

あゝ、ゴザエモンにはめられてる気がしてきた。

ゴザエーモンー 14（後書き）

読んで頂いてありがとうございます！無理矢理ですがここで終了です。一応すぐに成人編を書きたいと思つてますのでまた読んでくださいね！！あひゃ。この話では無いですが、今年末か来年に自主なんですけど、出版の話もしています。（まあ地元でしか売れないでしょうけど）もっと上手くならないと、頑張ります。

ゴザエーモン 成人編1（前書き）

ご指摘を頂きましたので、登場人物の名前を変更しております。
b r > ご了承ください

ゴザエーモン 成人編 1

いや、まあノリタだけど、ていうかお前らノリタって聞くとちよつと駄目な奴を想像してるだろ？

だから言いたくないんだよね、ノリタって。うぜーよ。なにかも俺は今、24歳になったよ。世の中すべてにマザファツカな生活を送ってる。まあ、かつこ良く言えばな。

あれからいろいろあったよ。いろいろあったけど面倒くさいから説明はしねーよ。

ただ、俺は今、寝る所もねーんだ。

もちろん無職だぜ！！AHHH！！、、、

ハックシヨン！！あつ、鼻くそ飛び出た、まあ関係無いけど。人生くそくらえだよ！

ジャディアンや、スレオ、シスカ、それにゴザエモン、みんなとは高校以来逢ってない、

ベキスギには逢ってるけど、

だつて隣にいるから。

ベキスギと俺は高校を卒業してからも、なんかの腐れ縁？でずっと一緒にいる。俺等は2人とも仕事もしないでプラプラしてる。基本的にはベキスギの家の部屋で2人で引きこもってる。

別にやりたい事もねーし、誰にも指図されたくねえ！！

俺らは自由だ！AHHH、、、

ハックシヨン！！ブヒ！！あ、屁も出ちゃった。まあどうでもいい

いけど。

今日もベキスギの家で2人でネット荒らしを楽しんでいた。

ベキスギはネットでは最強、最悪キャラだ

「ノリ君！また1つアイドルのホームページに毒を書き込んでやったよ！！」

イエーイ！まさに僕らサイバーテロだね！！
ん？サイバーテロって言葉かつこいいね！！

サイバーテロデキスギ！！なんて！！ウホホーイ！！」

はあ。馬鹿なくせにいつちよまえにパソコンは使えるだよ、ベキスギ。

飯はベキスギの母が部屋の外に届けてくれる。

母が飯を届ける度に

「ぶち殺すぞ！！飯まずいんだよ！！ノリ君にもっと良いもの食べろよ！

糞ババア！！」

とかベキスギが叫ぶ。

さすがにこれは辞めて欲しいが、最近なんか、ベキスギも怖い。突っ込めない。

前に1度突っ込んだら

「ノリ君！君は僕の言う通りにしてればいいんだよ！そうしたら寝る所も食べる物

も出るんだから！ね？」

みたいな事を言われた、ゴザエモンみたいだよ、

俺はそろそろこの生活から抜け出そうと考えていた。

そしてここで思いも寄らぬ展開が起こった、

ベキスギがネットから凄い物を発見した！

「ノッノリ君！！これ、これ見て！！」

ベキスギはパソコンの画面に写ってる物を指差した。

あ！！！！これ、ゴザエモンじゃん！！

なんか見た事無い道具出してる！！

しかもタイトル、見出しに

「喋る変な機械現れる！！地元住民恐れる！！日本政府の対応は！！」

うわ、化け物、怪獣扱いされてる！！

ゴザエーモン 成人編2

ゴザエモンが何故か俺の世界に来てる、

ぶっちゃけさあ、俺、今24歳だけど、全然世の中は進化していない。

喋って心を持った猫型ロボットなんて到底作れていない。

だから最近ずっと疑問だった。ゴザエモンはどの未来からやって来てる

んだろう??もつと遠い未来??100年くらい先??

100年先なら俺、生きて無いじゃん??

まあ、よく分からんわ、聞かないでくれ。

この話しは無しで!!

でもゴザエモンがこの時代にいる、

正直逢いたい。いろいろあったけど、逢いたい!

俺はゴザエモンに逢いに行く!と、ベキスギに打ち明けた。

ベキスギはナイフとか出しながら、引き止めて来た。

俺は引き止めるベキスギを、、ボッコボコにした。

だってウザイんだもん

今までご飯食わせてくれてありがとう!デキスギ!

センキュー!!

俺は不安と希望が入り混じってなんか甘酸っぱい気持ちで、え?その心情分かりにくいって?

うーん、まあ、納豆にイカを混ぜたような気持ちで、いや違うな、外国人の体臭は臭い奴が多いよね!!困るなあ!

みたいな気持ちで、

ゴザエモンが発見された　　県の村に向かった。
電車とかバスで。

金はベキスギの部屋に落ちてた財布から8万円貰って来た。
誰の財布なんだろうね？ベキスギ君、えへへ。

村に着いた。まあ、ど田舎だ。空気が旨い、っ
てーでもいいか、そんなもん。

まずは宿屋に泊まった。そしてとりあえず薬草とこん棒を購入した、
っておい！俺は勇者かよ！！
などと1人で想像しながら、ニヤニヤしながら村を歩いていると、
1人の村人おばあちゃんが声を掛けてきた。

「あんた！今、村は危険じゃ！外出歩いちゃ駄目じゃ！！
ロボットが細菌やら、ミサイルやら使ってくるだ！！」

俺はお前も外出てるじゃーん！！と突っ込みたい気持ちを押さえる
のに必死だった。

村人はそういい残し、再び畑を耕していた。

俺はしかも戻る気も無いのかよ！！じゃあ危険！！
とか言うなよ！と心の中で突っ込んだ。

そうこうしていると、村中にサイレンが鳴った！！

ウー！！ウー！！うおいん！！びうあいう！！

村に設置されてるスピーカーより放送が入る！！

「化け物が現れました！！村人は非難してください！！
繰り返します！！いや、めんどいので繰り返しません！
とにかく非難してください」

繰り返せよ！！なんだこの村？？緊張感が足りねーなあ、
だって化け物って、ゴザエモンでしょ？まあ怖くは無いよね。

そしてあたり一面は真っ暗！！（いや、夜だからね）

そして遠くの方からなにかが俺に迫ってくる！！

ゴザエーモン 成人編3

遠くに見える青い物体がどんどん俺の方に迫って来る！！
はつきり見えないがゴザエモンに間違いない。

どんどん迫って来る。はつきりと確認できる様になって来た。

あと100メートル位の距離だ。

どンドン、どンドン、姿が大きくなって来た。あと50メートルくらい。

足跡も聞こえる様になって来た。ズーン！！ズーン！！

ズーン？なんか本当に怪獣みたいな足跡だ。いよいよ30メートル。

ズーン！ズーン！ドーン！！俺の目の前で止まった。

間違いなくゴザエモンなんだけど、

っておい！でかいよ！！ゴザエモンだけどこか過ぎい！！

6メートルくらいあるよ！！

しかもさつきから

「プシュ、プシュウ、」

とか言ってるし！これじゃまじ化け物じゃん！！

ここでゴザエモン？が声を掛けてきた

「やあノリタ君、君が来る事は分かっていたよ！大きくなったね！

プシュ、ん？もう子供じゃないから君を付けるのは辞めよう、

ノリタ！

大きくなったね（わあ2度目）プシュ、僕もほら、ね？大きくなつただろ？

お互い成長したね！プシュウ」

いや、ゴザエモン、君が成長するのはおかしいよ、機械じゃん？

と言おうとしたが、プシュ、とか言ってるので怖くて声掛けられないっす。

ここでゴザエモンは巨大なポッケから1つの道具を出した。

「ジャジャジャジャー！スモールライト」

あっという間に元の大きさに戻りました、

「あひゃー！びびった！？びびった！？うひゃあ！あのさあ、当然成長しないから！」

僕、機械だからさ！冗談！冗談！でかくなって悪さして話題になれば、

ノリタが必ず僕の所に来ると思ってね！

今日、ノリタ見て、ほくら来た！みたいな！うあひゃ！

僕らはいつでも一緒だろお？？」

甘かった、逢いたいなんて思った俺は馬鹿だった。

一段と嫌な性格に磨きかけてやがる、

けど、つまらない日常に嫌気がさしてた俺は、正直逢えて嬉しかった。

どっちだよ！みたいな気持ちだった。

その後、俺とゴザエモンは日本政府に捕まった。

はい。いつものパターン、どこでもドアで脱出をかましてやったぜ。

一応、指名手配になるのが嫌なので、俺とゴザエモンのコピーロボット

を牢屋に置いてきました。AHHH！

警察のみんな！赤い鼻は押したら駄目だぜ！！へへっ！

ゴザエモン 成人編 4

そんな感じでひさびさの再会を果たした。

俺はまず、すべてをゴザエモンに打ち明けた。

俺は現在、無職な事、両親も事故ですでに亡くなって、家も売り払い、

帰る家も無い事など、ゴザエモンにすべて話した。

ゴザエモンはうんうんとうなずき

「知ってたよ！！ノリタが浮浪者になる事も知ってたし、まあ気にすんなよ！！」

これからまた2人で頑張ろうよ！！」

最高の台詞だ。やっぱり俺はゴザエモン無しでは生きて行けないんだ。けど、どうしても突っ込みたい事があった。

何力所か、

首に付けてる鈴が必要以上に「リン！リン　！リリリ！！」って鳴ったり、

毛深くなっていたり（そもそもなんで毛が生えてんだろ？）

鼻水出てたり（機械なのに奇怪だなあ）

靴履いてたり

声がなんか、田代まさしの声？だったり

そしてなにより、背中にでっかいボタンがあり「核」って書いてあるんだよね、しかもかなり出っ張ってるし。

ゴザエモン俺を見てこう言った

「ノリタ！お前もいろいろあったんだろうけど、僕も、ね？
なにも聞くな！！それが心の友ってやつだろ！？あひゃあ？」

確かに。けど、１つだけ聞いてみた

「あの、背中核って、寝る時、どーしてんだよ？

おやすみい、カチ、バーン！！ってなるじゃん！？

おやすみドッカーン！！ってさ！！おい！？」

ゴザエモンはニヤリと笑いこった

「あひつや、馬鹿だね相変わらず！そりゃ背中に核ボタンあれば
寝る時ボタン押して爆発しちゃうよね？でも僕、最新猫だよ！？

そんなもん、時間巻き戻せばいいだけだから！！あつひゃー！！」

え？俺はすかさず

「えっええ？？それは無いだろ！？だって核爆発したら、ゴザエ
モンも

吹き飛ばじゃん！！そしたら道具なんか使えないじゃん！？ねえ！

？」

ゴザエモンは酷くむかついた顔で

「うっさい！！こらあ！！ 凹凸！！いちいち突っ込むなよ！！

このノリタ野郎！！ひゃひゃ！！やっちゃうよ！？あひゃ！！」

2人はしばらく無言になりました。

ゴザエモンは

「、、、、つてか嘘だから。背中ボタン、押しても核、爆発しな
いから、、、、

ふう、、、、うざいなあノリタは本当に。ふふふ、、変わらないね。」

俺とゴザエモンは仲直りしました。だって心の友だから！
あつ、心の友と言ったらあの人
ジャリアンに逢いに行く事にしました

ゴザエーモンー 完結

おひさしぶりです。ノリタです。

どうしてしばらく日記を更新しなかったかと言つとね、
まあ、聞いてください。

僕とドザエモンは探すのが面倒だったので、すかさずどこでもドアを使い、ジャリアンに逢いました。

そしたらジャリアン、田んぼでね、汗を垂らしながら畑を耕していました。

そして僕らを見るなりこう言っ たんです。

「よう！ひさしぶりだな、お前ら！ふう、まあ道具使つてんのか！？」

そんなもんに頼つてばかりだと人間駄目になるぜ！？

俺！？俺は今幸せだぜ！！へへ、実は先月結婚したんだ！

ドザエモン、ノリタ！もう道具に頼るの辞めて自分の力で生きて見ろよ！幸せになれるぜ！」

僕はこの話を聞いて今の自分がいかに駄目人間が分かった。

またドザエモンに頼つて、

その時でした。

ズバーン！！ズババババーン！！

あ、ドザエモンがミサイル発射しちゃった。

「こらあああ！ジャリアン！僕はロボットだから立派に生きても

意味ないんだぞおお！こらあ。うひゃや！意味わからんでしょ！？立派に生きて弁護士にでもなって幸せな家庭をもつ猫型ロボットとかさー！

ポケットから道具出さないで小動物でも飼おうか！？カンガルーじゃないんだからさあ！

僕は道具をだす事でアイデンティティを保っておるのだよ、お分かりかい？ジャリアン君？」

ジャリアンはミサイルが当たって話を聞いている

どころではありませんでしたが、

ドザエモンの話しも、深いなあ。と関心しました。

なにが幸せかはその人次第なんですな。

ジャリアンはその後立ち上がり、「大丈夫、大丈夫！！」

と言いながらふらっふらで引っこ抜いた大根を何故か再び土に埋めていました。

明らかに大丈夫の様子ではありませんでした。

それは100人乗っても大丈夫って言うてる物置の98人目が乗った様子に似ていました。

ん？違うな、

細木カズコになんか痛烈な占いをされたB級お笑い芸人のリアクション

みたいでした。

まあそんなこんながあつて、僕は僕自身の幸せを掴むため、日記を書くのを休み、

京都の料亭で料理の修行を初めてたんです。

そう、僕は料理人になりました。
もちろんドザエモンに頼る事なくね。

あ、ドザエモンはね。ふふふ。ポケットから道具出すの辞めて、
今、ポケットの中でカマキリを飼っています。

ちなみに23匹目だそうです。寝返り打つと潰れて死んじゃうんですって、

本当はドザエモンもジャリアンの話が心に響いてたみたいで
将来はムツゴロウさんみたいになりたいそうです！

余談ですけど最近ムツゴロウさん見ませんね！

この日記はこれで終了します！皆さんいろいろと意見もあったでしょうが

僕はこれからも料理人として頑張って行きたいです。

で、次は僕の料理人日記を始めます。それも読んでくださいね。

最後に。ドザエモン、これからもずっと友達だよ

ゴザエーモンー 完結（後書き）

ちゃんと終わりにしたかったので書かしてもらいました。
これで終了です。ありがとうございました

ゴザエモン料理人編

やあやあ、ノリタだよ。ひさしぶり！

まあ、今までの小説読んでくれてた人なら分かると思うけど僕、料理人になったんだ！

あ、だからと言っていちいち前の小説読み直さなくてもいいよ。だってそんなに面白い小説じゃないからね。

だから前の日記読んでない人でも分かるように話しを進めるよ。

やっぱりめんどくっせえので前の日記を読んでね！えへえ！

ゴザエモンとはあれ以来逢ってません。

僕も自分の力で生きて行きたくなって料理の世界に飛び込んだんだ。最初は修行の身で大変だったよ。あまりに大変でおかしな薬に頼ろうと

したくらいだ！

けど修行を3年、僕も成長した！

そして料理長に言われたんだ。

「ノリタも一人前になったな！だから他の店に行け！
ぺらぺらぺらぺら、」

なんかぺらぺら言われて店をクビになりました。

一人前だから他の店に行けて、完璧なリストラですわ。

だから今日、僕は新しいお店に面接に行きました。

「リストランテ、骨川」

なんか名前が気になったけど、リストラになった身なんで
贅沢は言えませんでした。贅沢はいえませんが月収200万くらい
欲しいなあ。あ、あと1日2時間しか働きたくないなあ。
まあ、贅沢は言えないけど。

ふふふ、ここでいつもならあいつが突っ込んでくれてたなあ。
そーいえば昨日食べたトンカツがまだ歯に挟まってるなあ、
とかどーでもいい事を回想しながら、着きました。
リストランテ骨川に。

はい。いました。スレ夫。オーナーでした。皆さんの予想どうりで
す。

スレ夫が言いました。

「よう！ノリタ！お前が来る事は分かってたぜ。

まあいろいろ言いたい事はあるけど、採用！

早速今日から働いてくれ！とりあえずいきなり料理はさせられない
から

僕の飼っている猫の世話を担当してくれ！僕は忙しいのもう行く
から

あと宜しく〜！」

猫？、何故？猫の世話を？しかも僕が来る事を分かってた？

ははーん。さてはその猫はゴザエモンってオチだな、

僕がそう予想して猫のいる部屋に入ると、

あれ？普通の猫がいます。

おかしいなあ、いつもならここでゴザエモンが必ず出てくるんだ
けど、

僕はしばらく猫の世話をしました。

うーん。ってかね。部屋の隅に本当普通にゴザエモンがいます。
さっきからなんだか気づいて欲しいリアクションをしています。
誕生日用みたいなクラッカーを持ってし。
なんか声を掛けるタイミングを見計らってるみたいです。

そして、、

ゴザエモン料理人編2

はい。ひさびさすぎるので前回の内容をしっかり読んでね。

うーん、ってか前回の終わりが書きにくい内容なのでもう二人は出会った事にしますね。

ここから、ノリタがしゃべるよ。

はい、僕のりたです。まあこんな感じでまたゴザエモンに出会いました。

ゴザエモンは今、スレ夫の家で飼われているペットに成り下がっています。

猫ばりにごろごろ言ってます。

「ごろろ、ごろろ！ごろごろろー！」

僕を見ながらごろごろ言ってます。クチで、

「ごろろーろー！、ん？違うな、げろげーろーあ、こつちか、まあそもそも僕は昔からカエルになりたかったんだよね。カエルとつか

カエルの卵になりたいね。イボカエルのイボにもなりたくないあ。」

わあ、、なんかぼそぼそ喋ってます、、しかもカエルになってるし、

まあ、ゴザエモンは嫌いじゃないし別に再会は嫌いじゃない。

僕は料理しにここに来たのだから。

僕は早速自慢のMY包丁を研ぐため鞆からだした。

すると猫が満を辞して喋り出した！

「アツヒヤー！ヒー！殺されるう！僕ひさびさに再会したノリタに殺されるよお！あひゃ！

可愛い猫型の僕を、誰かぁ！！助けてー！！」

おいおい、なんなのこのバカ猫は、僕が無視しているとさらに「あひゃやや！！おいこらノリタ！お前ごときが無視するなよ！早く僕を頼りなよ？

どーせまだ駄目な奴なんだろう！？早く道具に頼りなよお！」

むかつくなあ、あまりにむかついたので僕は

「、、、はいはい。じゃあタケコプター！！タケコプター出して！ほら！」

と嫌々な口調で言い放ちました。ゴザエモンはニヤリとし、すかさず

「ジャジャジャジャーン！はい！タケコプター！」

と、ポツケからからし明太子を出した。

「出さないよ、タケコプターは。ふう、出すと思ったでしょ！？ゲラゲラ！！

また僕の道具を頼るのかい！？少しは大人になりなよ！あっひゃー！！」

大笑いするゴザエモン。

完全にむかついた僕は持っていた包丁でゴザエモンを！！

って嘘嘘。どーせ刺そうとしても刺さんないでしょ、

多分カーンって音するよ。金属だから。

なので持っていた包丁でからし明太子を手早く調理し、明太子チャーハンを完成させました。

ゴザ

さてさていよいよ今日はリストランテ骨川に勤務です。

リストランテ骨川は11:30OPENの22:00閉店です。

お勧めは魚介をふんだんに使用したパエリアや、パスタなどです。

ちなみに僕、ノリタの得意料理はカツ丼ですが。なにか？みたいな気持ちです。

バレーボールのボールでカーリングを始める様な気分です。

ハバブレイクハバキットカット！みたいな気分です。

僕は新人なので朝9時に仕込みをするため調理場に入りました。

客席が150席もあるレストランなので厨房もメチャンコ広いです。

適当な感じで掃除を始めること1時間、驚きの人が出勤してきました。

「はい。お早う！うつふん。」

もの凄いミニスカ、つかボディコン？みたいな服、

息したくなるほどのキツイ香水の匂いを発しながら

シスカちゃんが出勤してきました。

「あつれ？のりちゃん？ノリタ君じゃん？プツ！あ、ごめんごめん。」

なんか笑っちゃった！私ホール主任だから分らない事は、ぶつ。聞いてね。まあ今日からまた心の友だね！一緒に頑張りましょ！プツ」

うーん、なんか笑われてるなあ。存在自体に笑われているのかなあ、

しかも出勤するなり指にフン　フン　言いながらマニキュアを塗り始めました。

それからしばらくしてまたも衝撃の人が、

「ちわー！剛田酒、野菜店でーす！」

来たー！ジャリアン登場でえす。お約束！

「おいっす！あれ？料理長はまだかな！？おいっす！うん？あれ？お前ノリタじゃーん！？元氣かよ！？

俺は酒も農業もバッチリこなしてるぜ！？

そーかそーか。お前もここで働くんだな！また仲間だな！よろしく！ところで昨日のカーリングの試合見たか！？まあそれは関係ねーか！よし！これは歓迎の挨拶だ！」

と、ペラッペラと喋られて、トマトを顔面にグツチャ！とぶつけられました、

まるで僕の顔をカーリングの的（円）の様にね、

僕はトイレで顔を洗い、再び厨房に戻ると、料理長と呼ばれる人物が登場してました。

みんな集まってミーティングが始まっています。

僕は12人くらいいる社員の後ろに並びました。

「にゃゝゝ、にゃゝゝ、うーん。猫の鳴き声って難しいなあ。

まあ、猫の鳴き声なんてどーでもいいか。あつひゃ。

さーて。今日もみんな適当に頑張れ。どーせ料理なんて僕のポッケから

出すんだからさゝ！あつひゃゝ！」

ああ、そういう事でしたか、

じゃあ、僕なんていないじゃん。

「今日から新人が入りました！ノリノリタ君！君は主に僕の世話役です！あひゃ。

みんなは一人のため、一人はみんなのため。それはまるでカーリングのチーム

の様にみんな頑張りなさい。あつひゃゝ。

君達カーリングの歴史知ってる！？教えようか？

ってか僕も知る訳無いし！猫なのに！ゲラゲラ！」

はあ。最後までカーリングネタか、
こうして僕のカーリング選手としての、いやいや、料理人としての人生が始まった。

ちなみに本日のお勧めランチは

「トマトとチーズのHOTパイ包み」です。

見た目、カーリングの石みたいです。

ゴザエモンのポッケから次々とカーリングの石みたいなパイが出てました。

ゴザエモン料理人編 4

リストランテ骨川に入って一週間がたちました。
料理は一度も作ってません。

料理人なのに料理しない。それはまさにパンダのくせに笹食わない、
ゴリラのくせに「ゴホゴホっ」って言わないみたいなもんです。
「ゴホゴホ」って言わないなら食肉にっちゃうぞー！人間は怖いん
だぞー、

などといういろいろ想像してしまいます。

だってプロ野球選手が居酒屋やってたら嫌ですよね？

相撲取りがチャンコ屋出したりさ、

まあ実際よくいますけども。バーロメー！世の中マダファツカ。

だから僕は猫には猫らしくしてほしただけなんです。

ゴザエモン。君猫でしょ？

なんでレストランの料理長してるんですか？

しかも封印したはずのポツケフル活用で、

今日はそんな不満は置いといて初めての休日です。

僕は朝から漫画喫茶に来てかれこれ4時間経過しています。

いいんでしょうか？いい成人がこんなんで。

ってかゴザエモンも一緒です、

別に一言も喋っていません。

だって喋りかけても細きかずこばりに嫌な事しか言わないからね。

ただどーしても突っ込みたいのが、

ゴザエモン、ずっと料理がうまくなる本読んです、うーん。突っ込みたい。こらっ料理全部ポケやないかい！と突っ込みたい。しかも手がグーなので本持ててないやないかい！とも突っ込みたい。

どーしよ、喋りたくはないけど突っ込みたい！でも嫌な切り替えしされるだろうしなあ、

そんな事を考えていると、

「っておい〜！ノリタ！君また黄色いシャツやないか〜！あひゃ！っておい〜！いつまで君は目が3なんじゃ〜い！うつひゃ〜！それから、えーと、それから、ってか息するな〜！臭い！」

あ、ゴザエモンが突っ込んだ、しかも寒いなあ。

息するなって、しますよ。息は。

ゴザエモンは恥ずかしそうに

「、あ、ひゃ、だってノリタ君が喋ってくれないから、寂しくて、

僕、ノリタ君が料理人になったって聞いたから、僕も料理人になれば

また会えると思ってずっと待ってたんだ、あひ、や

恥ずかしい〜！あーっもう、カリフラワー！間違えた！

どこでもドア！」

ゴザエモンは漫画喫茶の個室でどこでもドアを出し、個室の外に出ました。

しかも個室の外から僕をこそ、こそつと覗いてます。

うーん。可愛いところもあるんだなあ。いや、可愛くはないな。

僕は今までもこれからずっとこの猫と一緒になんだな。

仲良くしようと思った瞬間、

どーん！びしゃー！

店員がゴザエモンにぶつかり、飲み物を掛けちゃいました。

「あーん！？こらあ！ぶち殺すぞわれえ！！　！じゃじゃじゃじやーん！

一撃殺人機ー！！」

ひいー！！店員が悲鳴上げてます。漫画喫茶なのに。

うわ、やつと突っ込みます。

「おいおい！ゴザエモン！殺すなよ！！君は猫なんだから！猫らしくしなさいってのー！」

僕は満を辞して突っ込みました。

ゴザエモンはなぜか必死に

「猫じゃなーい！僕、猫じゃなーい！ぷっしゅー！猫はありません
くん

ぷっしゅ、ぷしゅ」

あ、水掛けられてからショートしちゃった。

僕はショートしたゴザエモンを引きずり家に帰りました。

携帯と一緒に次の日、日光にさらしたら動き出しました。

いやあーいい休日だった、

ゴザエモン料理人編5

ども。ノリタですが。

いやあ、最近書く事無いなあ、。なんで日記書いてだろなあ、。だって料理人日記なのに料理してないからなあ。

だから今日は無理矢理料理の事書こうかなあ。

あ、書いてる横にゴザエモンが来た、。

そもそも料理とは

「やあ！僕ノリタです！料理なんてどーでもいい！

ゴザエモンが大好きです！ゴザエモンを幸せにするために生きています！ゴザエモンは最高かつ最新の猫型ロボットです！すべては和田、。じゃ無かった。ゴザエモンのためにの精神です。今からどら焼き買って来ます！」

79

うんうん。僕はゴザエモンのために生きてるんだね

っておい！！こら！勝手に文書くなよ！！

僕はゴザエモンをどついた！

カーンって音がした。ゴザエモンはどつかれた事にも気づいてません。

金属だなあやっぱ。

ゴザエモンはふてぶてしい顔して

「ってかさ」。昨日こっそり今までの日記読んだんだ、。

ん？おいこら、僕は悪の大王かい？そもそも誰に発表してるんだい？ネット？

ノリタ君の日記なんて誰も読んで無いって！文章へただし！うひょ！日記なんてやめてシスカちゃんストーリーキングしに行こうよ！はあは

あ！

あれはいい女になったでえ！アツヒャ〜」

という事でどこでもドアを開けシスカちゃんの元へ。

あ、ちなみにこれは深夜の事なんでレストランは？とか思わないでね。

ん？ここは？どーやら六本木の様です。

クラブだなここ。けたたましい爆音でフランスが鳴り響いています。秋葉原っ子の僕には理解不能の領域です。プラモデル万歳！

えーと、シスカちゃんは？
いた！

黒人だらけのVIPルームに。

「OH〜シスカ！HOW MENISEX？」

なんか求愛されてるようですね。英語なんで分かりませんが。やっぱりシスカちゃんはボディコン？を着ています。

ん？シスカちゃんが僕に気づいてこちらに来ました。

「あつらあ〜！のびちゃんじゃない！？どうしたの？こんなところ来て！？」

迷子なの？駄目でしょ？眼鏡っ子は早くお家に帰って寝なさいよ！
」

バチーン！

なぜかピンタされました。

眼鏡がずれました。

しかも黒人に囲まれ、高笑いされています。

眼鏡を直すと、

「OH〜！ジャパニーズお笑い芸人！寿司、寿司〜！AHHH〜」

あ、なんか受けてる、

あいたたた、完全に調子こいてるシスカちゃんと黒人に絡まれていた

その時、

パンパカパーン！！

なんとステージに！！ステージに！！

はい。ゴザエモンがいます、パンパカパーンってクチで言いながら。

「あひゃ〜！！今日は僕猫型のためにお集まりありがとうございます！

聞きなよ下僕共！意味の分からん音楽なんか

聴いちや駄目だっちゅ〜の！ジャジャジャジャ〜ン！

演歌のカセット！！

日本人なんだから演歌聴けつての〜！ゲラゲラ〜！！」

音楽、演歌に変えちゃいました。

続いて

「ほ〜ら演歌が似合うよ君達は〜！あとね。今日はスペシャルゲストが来ています！

ノリノリタ〜！！僕の心の友だ！みんな拍手〜！！あっひゃ〜」

場は完全にしらせています、ってかいきなり猫のロボット喋ってるしね。

僕は黒人の輪を抜けようとしたがどいてくれなかったので、

偶然ポケットに入ってた、たけこぶたーでステージに行きました。
まるでガムのようにポケットに入ってた、たけこぶたーはあまりよく
回りませんでした。

結局よく回らないたけこぶたーは使わず、なんとかステージへ。

「アッひゃー！マイメンノリタ登場でえーす！彼が今からスペシャルな芸を

披露するよー！」

え？芸？いやいや無理ですから！

と思った瞬間、ゴザエモンに眼鏡はずされ地面に投げられ、

眼鏡、眼鏡、と探しました。

会場はゴザエモンの笑い声だけが響いてましたとき。

ゴザエモン料理人編7

おつとつと、野球で日本が世界一になっているではないですか！
すばらしいなあ！やっぱ何事も一生懸命にやるのは感動を呼びますね。

僕が日本代表に感動しているとゴザエモンがやって来ました。

「やあやあ駄目眼鏡君！観た！？野球！げらげら！優勝しちゃったね！

けど僕の方がすごいね！だって猫のくせに会話できるからね！
あと猫のくせにネズミ嫌いだからね！

それから、えーと、

猫のくせに機械だからね！

うーん、

手がぐぐだからね！

、、、、

まばたきはしないからね！

ポケットからいろいろバーン！だからね！

僕の青い部分は、ペンキだからね！

ハバブレイクハバキットカットだからね！」

うーん。つまらないなあ。

僕がそう思つてムスつとシカトしていると、

「ジャジャジャジャーン！笑顔作る機！！」

洗濯バサミで無理矢理笑顔作られました。

「ギャハ！！ゲラゲラ！不細工、不細工だよノリタくん！！ゲラゲーラ！」

ゴザエモンは散々笑い飛ばし、疲れたらしく押し入れに入っていました。

僕は選択バサミを無言で取りました。
痛かったです。

しばらく二人は無言でした。

あまりにもゴザエモンが静かなので心配になり押し入れを開けてみました。

ゴザエモンが自分の顔に洗濯バサミを挟もうとしていました、

「あ、いや、ノリタ君の顔が面白かったから、ね？僕もノリタ君を

笑わせてあげようと思って、
けど、挟まんないんだよね。機械だから。自分金属ですから」

うわ、ゴザエモンめっちゃ落ちています、

困った僕はもう一度洗濯バサミを顔に付けゴザエモンを笑わせてあげました。

なんかいい話書いちゃったなあ。

ゴザエモン料理人編8（前書き）

この作品は、某作品のイメージと似ている部分があるところのご指摘をいただいております。嫌悪感を抱く方は、ご閲覧なされない事をお勧めします。当作品の内容はすべてオリジナルのフィクションです。某作品とは一切関係がありませんのでご観覧される方はその辺を理解しつつお読みくださる様、お願いします。

ゴザエモン料理人編 8

いやいや、パイナップルなの？それともパイナップルなの？みたいな毎日です。

ノリタです。ごきげんよう！

今日のリストランテ骨川の昼ランチは

「ハーブ鶏のバジル香味ロースト」

だったんですが問題が起きました。

ゴザエモンが出勤して来ません。イコールポッケもない。だからメイン食材の鶏肉がありません。

しょうがないので僕はシスカちゃんと二人で裏庭へ、

「ちゅーちゅー！！ちゅー！ぎゃー！！」

「のり君！そっち2匹行つたよ！！あゝきもちわる！！」

なんとか食材を14匹ほど確保しました。

え？

ふふ、もちろんリストランテ骨川は国産ハーブ鶏のみを使用しておりますよ。へへへ。

そんなこんなでネズ、おっとと。鶏料理を無事出していたんですが、

ここでゴザエモンが登場です。

「ギャー！！ネズネズミ！！あっひゃー！！じゃじゃじゃじゃーん！！」

核ボタン！！」

ゴザエモンはなんのためらいもなく核ボタンのスイッチを押そうとしました。

僕は急いでゴザエモンの電池？みたいなのを外し動きを止めました。

みんなで話しました。

スレオ「どうしたんだろうね？ゴザエモンは。ひひひ。鶏肉見て暴れ出すなんてね」

シスカ「本当ね。ゴザちゃん思春期かしら？」

僕「きつと誤作動だよ。機械だし。みんな心配しないでね。へへ」

僕は夜中にゴザエモンの電池を元に戻しました。

ゴザエモンは何事もなかったかの様に

「ん？あゝよく寝た！！みんな今日も一日頑張ったね！うつひゃ！

お！今日のランチは鶏うまそうな鶏だね！！どれどれ味見を。

あつひゃゝ！うま！うまうま！！激うまゝ！」

ゴザエモンはぺろりとネズミを食べましたとさ。

はっ！？ぱちり！

僕は布団から飛び起きました。夢、、、

ってかなんだこの夢、、、？

僕の頭の中はどーなってるんですかね、

そんな温かな一日でした。

リストランテ骨川はただいま鶏フェア開催中です。

ゴザエモン料理人編9

うーん。最近この日記のやめ時に悩むなあ。もう1年以上書いてるよ、

でも微妙にHIT件数あるしなあ。悩むなあ。月に1度ここ開くのもかったるくなって

来たしなあ。

おっと、ノリタです。

なんと今、タイにいます。リストランテ骨川の慰安旅行です。楽しい楽しい海外旅行です！！

で僕、病院にいます。着くなり食べたゴキブリの唐揚げで見事大当たりをかまし、食中毒で入院です。イエーイ、

たいくつだなあ、

あゝ、そうだ！ゴザエモンの道具で治してもらえばいいんだ！

僕はスレオに連絡し、ゴザエモンを呼んでくれと頼みました。すると

「あゝ、残念！ゴザエモンは飽きてどこでもドアで日本に帰っていったよ！」

ノリタには気の毒だけど今回は自力で治すんだな！あばよ！」

と、柳沢慎吾ばりのあばよ！を言い放ちスレオはどこかへ行っちゃいました。

ゴザエモン、どこでもドアで帰っちゃ駄目でしょ、旅行なのに。ってか本当はタイにもどこでもドアで来ました。旅行の醍醐味も糞ありません。

しばらくすると病室にシスカちゃんが訪ねて来ました。

「元気〜！？のりちゃん！タイは最高にHAPPYな町だよ！！
なんとってあの草が吸い放題、おとつと、ご飯が最高に
美味しいわよ！
じゃあね」

うつわ、なんかぎりぎりの発言をささやいてシスカちゃんもど
こかへ、

次になぜか付いて来たジャリアンが、

「おう！ノリタ！やっぱタイはいいぜ！！ぶっちゃけ俺もう48人
抱いて来たぜ！！

で、なんか病氣貰ったみたいだから俺も入院するぜ！！アツハハ
〜！！」

ジャリアンはなんかの病気で別病等に入院です、パンツおろして
ました。

は、あ、タイなんて来なけりゃ良かった、

そう思っているとゴザエモンが普通にどこでもドアで部屋に来まし
た。

「やあやあ！ノリタ君！エンジョイしてる？僕はどら焼き食いに日
本に帰っていたよ！

ん？あつひや〜！君まだ入院してたのぉ！？早く言ってくれればす
ぐ食中毒治してあげたのに！！

ジャジャジャジャ〜ン！！スモールライト！！」

僕、小さくされました。

「あつひやっひや！小さい、小さいよ！ノリタくん！ゲラゲラ！

しかも病氣直ってないし！

ぷぷっ！！って冗談冗談！ちゃんと治すから！
ジャジャジャジャーン！記憶無くす機

僕、記憶が無くなりました。

「ほーら！直ったでしょ！！だって食中毒になった記憶無くしたからね！けど実際は食中毒なんだけど！
げらげら！！」

ってか僕は誰？？

食中毒どころかすべての記憶を失いました。

「あっちゃー！やりすぎた！！けどノリタ君つざいからしばらく記憶無くしたままでいさせよっ」と

次に気がついた時はもう日本にいましたとき。

ゴザエモン料理人編10

おっと僕は生きてますよ！

本当にひさしぶりです。正直、書く気おきませんでした。

だって、リストランテ骨川潰れたから。

AHHHH！

スレオはどこか遠くの山に芝刈りに出かけたきり帰ってきません。
ももたろうでも見つけたんでしょかね？

でもね。実は、シスカちゃんと俺結婚したんです！

もう結婚して2年たちます。

え？日記書いてないの半年だけ？

そんなのどーでもいいのっ！

だから今、バスケット選手目指して頑張ってます。

だって穴にボール入れるだけだから僕にも出来るでしょ？

シスカちゃん夢のある人好きって言ってくれてるし、へへへ

ゴザエモンはと言うといよいよスターになり始めています。

そりゃそうだ。あんな高性能ロボット今の時代まだまだ作れてない
んだから。

今もTVに出ています。

司会「さあ今日も始まりました！生放送！ビックリ猫のドッキリコ

ーナー！

今日はどんなドッキリを見せてくれるのかな？猫ちゃん？」

ゴザエモン「ファゝゝ、はいはい。なんかすればいいんでしょう？その前に今日のギャラについて

なんだけどちゃんと税金取られない様に対策したの？

ってかどーかしてるよこの国！猫から税金って！どー

言う事だよゝゝぶつぶつぶつ」

司会「あ、すいませんゝゝあの今日のびっくりはゝゝゝ」

ゴザエモン「はいはい！！HっJ G J S J H！！うっさい！今やるから黙ってみてなよ！！

じゃじゃじゃじゃーんどこでもドア！」

司会「あ、またそれですかゝゝ？」

ゴザエモン「はい、一瞬で違うところに行けますよ。入って入って」

と、僕の部屋にゴザエモン、TVの方達がそろそろ入ってきました。

生放送で僕の部屋が全国に流れてますゝゝゝ

ゴザエモン「やあやあ、ノリタ！！今日は君をTVに紹介したくてみんなを連れてきたよ！

ぞゝ！

ノリタは凄いいんだぞ！！早寝の世界記録もってるんだ

さあノリタ寝てごらゝん わくわく」

ノリタ「ゴザエモン、寝ろって言われてすぐ寝れないよ！子供の頃じゃ、な、グー、グー」

全国放送で僕は早寝の世界記録を更新しました。

ゴザエモン料理人編はこれにて終了です。ありがとうございました。

ゴザエモン特別編スレオ

はい。どうもどうも俺スレオです。ノリタじゃないよ！

ノリタ君の日記にあるとおり自分、山でいろいろな出来事がありました。

今は帰ってきてますが、

まあ聞いてくださいよ。

俺ね、皆さん知っての通り、リストランテ骨川潰しました。

まあ親父の金でやらせてもらってた道楽みたいなものだったし働いてくれてたみんなには悪い事したけど後悔はしてないんだ。

潰れてから一週間後、俺は1人になりたくて山に出かけた。

まあ、シリアスな感じで書いてるけどさ、普通に遭難したんだよ。

一日目、生えてたキノコ食べたらさ。幻覚見ちゃったよ、へへ。

二日目、水を探しに彷徨ってたらしいんな人達に出会えたよ。みんなすがすがしい顔で

御機嫌よう！とか、こんにちわ！など声をかけてきやがる

！！

こっちが遭難してるのに気軽なもんだ、へへ。

3日目、再度同じキノコで幻覚見る。麒麟の首がクルクルっと力

ールしてるお化け見たよ

4日目、UFOから宇宙人みたいなのが降りてきて

「大丈夫ですか！？よかつたら家まで送りますよ。」

と、言われたけど断る。

新聞の勧誘なら断らなかつたけどね。

5日目、一度家に帰る。いや、腹減ったし、風呂にも入らなきゃだからさ。

6日目、ゴザエモンが来る。

「アッハ〜！！！！スレオ君なにになに！？君遭難してるの〜！？ダッサー！！」

いや、みんなが心配してたから道具でここまで来たんだけど大丈夫そうだね！」

、、、、、、

7日目、誰も助けに来ない、このまま死んでしまうんだろうか、？

不安になった俺はもう一度家に帰り、飯を食い、風呂に入る。書置きに、近くの山で遭難してます。助けてくださいと残し、再び山に、

8日目、いよいよ頭がおかしくなりそうだ。生きてるのが奇跡なくらいだ。

あまりに寂しいのでノリタに携帯で連絡。
しばらく談笑を交わし電話を切る。
ああ、誰か俺を助けてくれ。

9日目、、、、いや現在に至る。実はまだ遭難中だ。誰か俺を救っ

てくれ、

は！？俺の部屋に誰かが！？

「スレオちゃんご飯食べちゃいなさい！また山行
くんでしょー！！」

飯の時間が来たのでここまでで日記は終わります。

へへへへ、、みんなも山には気をつけたな！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0853a/>

ゴザエーモン

2010年10月24日02時22分発行